

# Monthly REPORT

May 2026

よいこと  
のために  
手を取りあおう

出逢いは宝 未来につなごう

かけがえのない素敵な出逢いで、  
心の貯金が、いっぱい！

第2717回  
会員卓話 田畑繁会員

第2718回  
Epic Day of Service  
「友愛の森」「やまぶきロード」  
環境整備例会

第2719回  
クラブフォーラム  
「次年度合同委員会」

出逢いは宝 未来につなごう  
2025~2026年度 山形北ロータリークラブ会長 野村百合子  
Yuriko Nomura

SINCE  
1968  
58th  
YAMAGATA NORTH RC

2800地区のテーマ | 良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために  
山形北ロータリークラブのテーマ | 出逢いは宝、未来につなごう

会長/野村百合子 | 幹事/岡 誠司 | 事務所/山形市十日町 1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル 2F 電話 090-1445-4120 FAX 626-4422

第2717回 2026年(令和8年)5月14日(木) 12:30 PM 場所: ホテルメトロポリタン山形

## 会員卓話 田畑繁会員

月14日の例会では、新会員卓話として極真空手田畑道場の田畑さんにお話しいただきました。

田畑さんは1979年に国際空手連盟極真会館大山総裁の内弟子となったそうです。その時は極真空手のすごいブームの時代で、大山総裁の内弟子に12名の定員枠があって、その12名の定員枠になると候補者が120名もいたということです。120名の中でたまたま12名に選ばれて。そして、3年間の修行で残ったのは田畑さんを含め2名だったそうです。厳しい内弟子修行をもう一度やるかと言われたらやらない! そうです。という話に始まり、大山倍達総裁の経歴、内弟子時代の総裁からの薫陶、総裁座右の銘、道場訓、極真理念、極真精神、カラテを学ぶ目的、田畑道場の存在意義、文武両道、カラテの実力と人間形成、三合法と自己実現、自己完成、大会参加の意義、極真円心呼吸瞑想法、未来の子供達、演武という流れで卓話を展開していただきました。

また、大山倍達総裁のお言葉も紹介いただきました。

「武の道は礼に始まって礼に終わる、よって礼を正しくすべし」

「武の道の深求は断崖をよじ登るがごとし」

「武の道においてはすべてに先手ありただし私闘はこれを除く」

「武の道においても金銭は貴いものなりされどこれに執着すべからず」

「武の道は姿なり常に姿を正しくすべし」

「武の道においては千日を初心とし万日の修行をもって極みとする」

「武の道における自己反省は常に練達への機会なり」

「武の道は宇のためにあるものなり修練にて私心を忘れるべし」

「武の道においては点を起とし、門を終とす線はこれに付随するものなり」

「武の道において真の極意は体験にありよって体験を恐るべからず」

「武の道において信頼と感謝は常に豊かな収穫を得ることを忘るべからず」

さらに、極真会館 道場訓も紹介いただきました。

一、吾々は、心身を錬磨し、確固不拔の心技を極めること。

一、吾々は、武の真髄を極め、機に臨んで変化に敏なること。

一、吾々は、質実剛健を以て、克己の精神を涵養すること。

一、吾々は、礼節を重んじ、長上を敬し、粗暴の振舞いを慎むこと。

一、吾々は、神仏を尊び、謙譲の美德を忘れざること。



日頃の稽古で身体を磨き人格を向上させ  
その力を世界の幸福と平和のために

Tabata Shigeru

一、吾々は、知性と体力とを向上させ、事になおざりにせざること。

一、吾々は、生涯の修行を空手の道に通じ、極真の道を全うすること。

そして、田畑道場の存在意義とは、「日頃の稽古、審査、または大会を通じて身体の磨き、人格を向上させ、その力を社会に発揮し、生かし、世界の幸福と平和、その実現のために人材を育成し、輩出することになる」とされました。

田畑道場は、道場設立41周年になり、山形県内に25の道場、のべ会員数4000人になったそうです。

最後に、遠藤浩幸初段によるバット折りと田畑さんによる型転掌(息吹)を披露していただきました。



### 野村会長挨拶



先月25日、友好クラブである日田中央ロータリークラブの創立50周年記念式典に出席してまいりました。式典でも心のこもったおもてなしの数々に接し、両クラブの結びつきの強さを改めて感じる機会となりました。

日田中央ロータリークラブとのご縁は、2012年に始まります。当時第2800地区ガバナーであり、山

形大学農学部教授を務められた故・塚原初男様のご紹介により、友好クラブの締結が実現いたしました。それ以来、相互訪問を重ねながら、温かな交流を続けております。

さて、本日は空手家の田畑先生に卓話をいただきます。それにちなみ、瀬戸謙介氏についてご紹介いたします。瀬戸氏は昭和54年に瀬戸塾を

創設され、空手の指導とともに、論語や啓発録を通じた人間教育に力を注いでこられました。

『啓発録』は、幕末の志士橋本左内が14歳のときに記した五つの心得です。「去稚心(幼い心を捨てる)」「振気(勇気を奮い起こす)」「立志(志を立てる)」「勉学(学問に励む)」「択交友(良き友を選ぶ)」という教えは、時代を超えて多くの若者の心を揺さぶり続けています。

本日の卓話を通して、空手の技だけでなく、人としての在り方についても多くの学びを得られることを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。



新会員 古澤弘美さん

第2718回 2026年(令和8年)5月16日(土) 10:30 PM 場所:「やまぶきロード」「友愛の森」

Epic Day of Service

# 「友愛の森」「やまぶきロード」環境整備例会



Epic Day of Service は地域を越えて  
世界中がつながる“グローバルな奉仕の一日”

2026年5月16日、晴天の中、山形北ロータリークラブはEPIC Day of Serviceにおいて、アジア唯一の参加クラブとしてこの世界的な活動に参加し、当クラブが創立30周年記念事業として四阿を整備した「友愛の森」と創立50周年記念事業としてヤマブキを植栽した「やまぶきロード」2カ所の整備・清掃をおこないました。



「やまぶきロード」は春には山吹の鮮やかな黄色い花々に彩られ、「やまぶきロード」として地域の皆さまに親しまれています。また「友愛の森」は西蔵王の公園に位置し春には満開の桜が咲き誇ります。この取り組みは、単なるボランティアではなく世界中の人々がじ日に行動し、地域を超えてつながる“グローバルな奉仕の一日”なのです。世界中のロータリアンと、地域の皆さんと共にあったこのプロジェクトがさらなる広がりを生むことを願って!!!



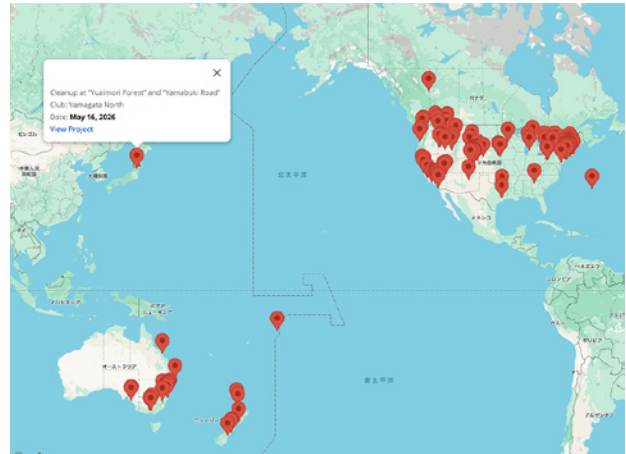
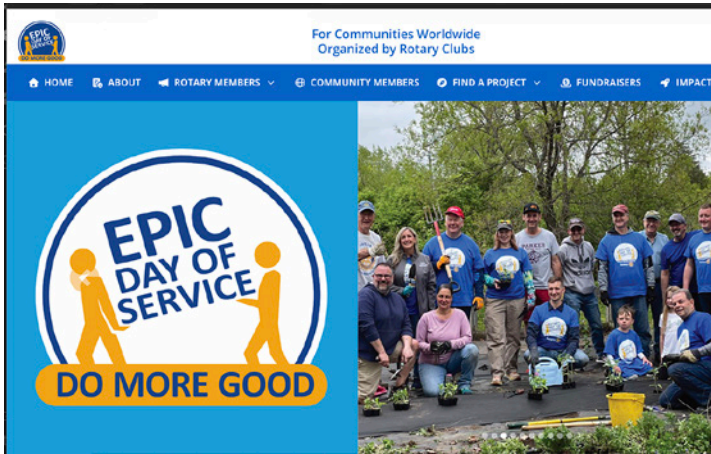
晴天に恵まれた5月16日、夏を思わせるような暑さの中スタート



創立50周年記念事業で植樹した「やまぶきロード」の整備・清掃



創立30周年記念事業で四阿を建設した「友愛の森」の整備・清掃



当クラブがアジア地区唯一の参加となった EPIC Day of Service

## EPIC DAY OF SERVICEとは

EPIC Day of Service (エピック・デー・オブ・サービス) は、毎年5月に世界中のロータリアンと地域の人々が同じ日に奉仕活動を行う、国際的なボランティア・ムーブメントです。

EPIC とは Everyone Participates in Communities (すべての人が地域社会に参加する) の頭文字で、「誰もが参加できる奉仕の日」という思いが込められています。

この取り組みは、単なる一日の活動にとどまらず、国境や文化、世代を越えて人々がつながり、地域社会に具体的な変化をもたらすことを目的としています。環境保全、食料支援、教育、福祉など、活動内容は地域ごとにさまざまですが、共通しているのは「より良い地域社会をともにつくる」という志です。



山形北ロータリークラブと Boulder Valley Rotary Club は、離れた場所にありながらも、同じ志のもとで地域に貢献し、友情と信頼の絆をさらに深めています。

## EPIC DAY OF SERVICE 中核運営メンバーからのコメント

EPIC Day and the Yamagata North Rotary Club - District 2800 (日本) わあ！これは本当に素晴らしいですね！

30周年、そして50周年の記念事業を実施され、そのプロジェクトを維持・整備する機会として EPIC Day を活用されたなんて、本当に見事です。さらに、地域の皆さんを招いて、美味しいランチを囲みながら交流の時間を持たれたことも、とても素敵です。

ロータリー、そしてクラブの公共イメージを築くうえで、まさに理想的な取り組みですね。新聞やメディアにも取り上げられたと聞き、とても嬉しく思います！映像も素晴らしく、プロジェクトの雰囲気がとてもよく伝わってきました。見ていて思わず笑顔になりました。そしてさらに楽しいことに、最後はみんなで BBQ までされたのですね。本当に印象的な活動です！

これはまさに、私たちが世界中のクラブに期待している「EPIC Day を最大限に活かした姿」そのものです。

ぜひ、日本の皆さんに、私たちがどれほど参加を嬉しく思い、その活動に感銘を受けているかをお伝えください。

そしてスティーブ、EPIC Day をあなたの仲間たちに紹介してください、本当にありがとうございます。

数年後、日本中が Global EPIC Map の赤い点で埋め尽くされる頃には、あなたと仲間の皆さんが、その実現に大きな役割を果たしたのだという誇りを感じることでしょう。 Together We Are EPIC!



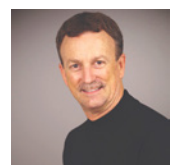
姉妹クラブである Boulder Valley Rotary Club でも、EPIC Day of Service に合わせて地域課題に取り組む奉仕活動が実施されました。

一つ目は、EFAA フードバンクでの食料仕分け

Emergency Family Assistance Association (EFAA) において、寄付された約 20,000 ポンド (約 9 トン) の食料品の仕分け・検品・整理を実施。この活動は、食料支援を必要とする家庭へ安全で栄養のある食料を届けるための重要な作業になっています。朝は 13 人、午後は 6 人のロータリーボランティアが参加されたそうです。

二つ目は、MASA Seed Foundation での農作業支援

MASA Seed Foundation の農場で、苗の間引きや植え替え、種の仕分け、敷地整備を行ったそうです。



Pat McGuckin

EPIC Day of Service Trustee / Technology Chair

## 第2719回 2026年(令和8年)5月28日(木) 18:00 PM 場所: ホテルメトロポリタン山形 クラブフォーラム「次年度合同委員会」

青山登 次年度会長より、会長方針を説明いただきました。

皆様、こんばんは。

本日は、2026-27年度山形北ロータリークラブ次年度合同委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

そして、次年度理事・委員長の皆様には、次年度へ向けにご準備いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

いよいよ私たち山形北ロータリークラブは、来年迎える60周年へ向けた大切な一年に入ります。現在、当クラブは100名を超える会員を擁する、地区内でも大きなクラブとなりました。

若い会員や女性会員も増え、いい意味で他のクラブとは違う活気あるクラブではないかと思っています。

しかし、会員数が増えた一方で、入会年数の浅い会員も増え、「ロータリーとは何か」「なぜこの活動を行うのか」が十分に伝わり切れていない部分もあるのではないかと感じています。

自分も入会したばかりの頃は、よく理解できず、でも誰かに聞くこともためられ、ただ出席していたように思います。

次年度のクラブテーマは

「ロータリーを知り次代にインパクトをもたらす」といたしました。

RIテーマである「持続可能なインパクトを生み出そう」、そして2800地区の「地域の絆で明日に繋ぐ」というメッセージを受け、私たち山形北ロータリークラブとして何ができるのかを、一年間皆さんと共に考え、実践していきたいと思っております。

私は、ロータリーの魅力とは「人とのつながり」と「参加することで得られる成長」にあると思っています。例会、委員会、奉仕活動、地区行事、姉妹クラブや友好クラブとの交流、そしてさまざまな同好会活動がありますが、それらを単なる行事として終わらせるのではなく、「なぜ行うのか」という意味を伝え、会員一人ひとりが主体的に関われるクラブにしていきたいと考えています。

また、今年度はクラブ戦略計画3-Year Rolling Goalsの中間地点でもあります。「継承から創造へ」という60周年ビジョンのもと、



単年度で終わらない継続的な活動を、皆様と共につくっていきたいと思います。

本日の合同委員会では、ぜひ各委員会で活発な議論をお願いいたします。委員長だけが考えるのではなく、委員全員で「どんな事業なら参加したくなるか」「どうすれば会員に伝わるか」を考えていただきたいと思っています。

山形北ロータリークラブには、多くの経験と歴史があります。一方で、新しい感覚や発想も必要です。ベテラン会員と若い会員、その全員が関わり合いながら、次の時代の山形北ロータリークラブをつくっていきたいと思っております。

60周年へ向け、「地区の手本となるクラブ」を皆様と共につくっていただければ幸いです。

### 野村会長挨拶



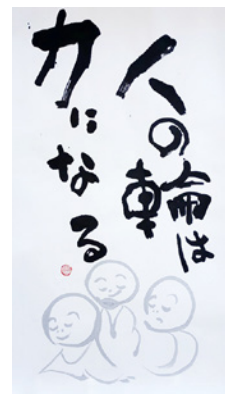
皆さん、こんにちは。本日は来年度の活動計画を形づくる大切な例会です。どうぞよろしく願いいたします。

さて、5月16日には、世界的な奉仕活動「EPIC Day of Service」の一環として、友愛の森とヤマブキロードの環境整備例会を実施いたしました。参加者は会員の約4分の1ではありましたが、皆さまが熱心

に活動される姿は山形新聞やYTSテレビでも紹介されました。地域の皆さまがヤマブキロードを訪れ、その美しさを楽しんでいただければ、私たちの奉仕活動も大きな実りとなることでしょう。

翌17日には、天童市で開催された会員増強セミナーに6名で参加いたしました。講師の赤塚弘美地区会員増強委員長は、「ロータリーを好

きになり、楽しむこと。そして新たな仲間を迎え入れる増強と、今ある絆を育むことの両輪がクラブ活性化につながる」と話されました。また、『ベスト50人の心』には、当クラブから伊藤誠さん、庄司信彦さんの記事が掲載されており、改めて誇らしく感じました。さらに24日には岡幹事とともに白鷹ロータリークラブ創立60周年記念式典に出席いたしました。歴史あるクラブの節目を祝い、多くのロータリアンとの交流を通じて有意義な時間を過ごすことができました。こうしたご縁を大切にしながら、来年度に向けた活動につなげてまいります。



米山功労者第1回 伊藤誠さん

# Members' Column 会員コラム | 私のオススメ・私の趣味・うちのペット

## 「走ること。」

庄司信彦さん

私の趣味  
My Hobby



コロナの始まりの頃、沈む世の中に引っ張られまいと走り出し、その2年後に当選した東京マラソン以降、『走ること』にすっかり魅了されてしまった。『なんで走ってんの?』とよく聞かれるが、あえて言うなら、『走った後の爽快感』だろうか。日常のランニングでも、大会でも、自分だけの目標に向かって「よし、今日もやり切った」という最高の幸福感がたまらない。皆さんも是非!



ハーフマラソンゴール前、もう少し。



日光の山々をバックに雨の天空回廊 1445 段をゆく。

ロータリアンとしてのモットー

「ロータリアンだった親父からの言葉『バランスよくやりなさい。』です。

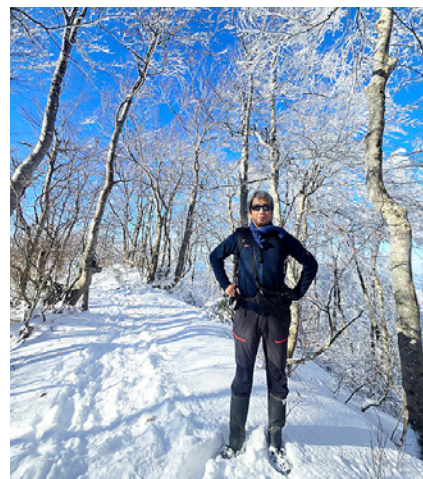
## 「明日晴れるかな」

櫻井努さん

私の趣味  
My Hobby



50歳を過ぎてから、健康増進とダイエットのために始めた登山にハマってます。おかげさまで、足腰は丈夫になって体力がついたような気がします。頂上で食べるご飯とおやつが美味しくてダイエット効果は出ておりません。仕事では週末に登る山の天気気が気になって、何度も天気予報を見ながらソワソワわくわくしております。これからも、生涯の趣味として、熊に気を付けながら山を楽しみたいと思います。



ロータリアンとしてのモットー

『おかげさまの心』

## 「法律、ガンダム、日本酒、時々鰻」

細江大樹さん

樹氷の森法律事務所 (弁護士)、うなぎ屋江戸名代壱門 天童店

私の仕事  
My Work



弁護士としての得意分野は、ネット上の風評被害対策です。Googleマップに悪い口コミを書かれた企業、Xで誹謗中傷されたタレント等からご依頼を受け、削除請求、犯人特定のための開示請求等を行います。タレント事務所の役員兼用心棒も務めております。和食と日本酒が大好きで、趣味が高じて、天童市にFCの鰻屋をオープンしました。一番の趣味はガンプラ造りです。Zガンダム世代ですが、最近、ウイングゼロ、デスサイズヘル、フリーダム、デスティニー等、羽の生えたガンダムを好んで製作しております。※ジオン系、ティターンズ系も大好物です。



ロータリアンとしてのモットー

『チャンスは最大限に生かす、それが私の主義だ』 富野由悠季「機動戦士ガンダム」より シャア・アズナブル

クラブ会報アーカイブ  
各例会のニコニコBOXは  
こちらのQRコードからご覧下さい

■クラブ会報アーカイブ



■ニコニコBOX

